

(様式1)

令和7年度 学校評価結果報告書(特別支援学校用)

(1) 学校教育目標	1	心豊かな人間性を培うとともに、たくましく生きるための健康や体力を育てる。
	2	自ら学び自ら考える力を定着させるとともに、社会的、職業的自立への意欲を育てる。
	3	社会生活及び職業生活に必要な基礎的基本的知識・技能や態度・習慣を育てる。
(2) 現状と課題	知的障害に加え、発達障害や精神疾患を有する生徒が増加しており、多様化する生徒への対応や個別の支援を教職員が力を合わせて行っているが、個別対応の割合が年々増えてきている。その中で、一人一人の適性や能力に応じた職業教育や産業現場等における実習等を通して、勤労に対する基本的態度や意欲を育み、卒業後の生き方を考えることができるようキャリア教育の充実に努めている。 積極的、予防的な生徒指導、支える生徒指導を展開し、生徒の主体的な話し合いによる「二高養宣言」を通じた指導を展開するとともに、令和4年度からは「校内支援委員会」を設置して精神的な問題等を抱える生徒に対する対応について組織的に検討する場を設けている。今年度は、SNSの利用に起因する生徒指導が多かった。情報通信機器は、現代の生活に欠かせないものとなっている一方で、使い方を誤ることにより、人間関係や生活面に影響を及ぼす事例も少なくない。そのため、生徒が情報を正しく判断し、適切に活用する力を身に付けるための情報リテラシー教育の重要性は一層高まっている。	
(3) 重点目標	1	経験の違いによる学び合いを活用したキャリア発達を促す授業づくりの推進
	2	キャリア教育を通じた全教職員による進路指導
	3	生徒の主体性重視と社会性につなげる生徒指導
	4	特色ある学校づくりと魅力発信
(4) 結果の公表	教職員・寄宿舎指導員の自己評価及び生徒用、保護者用各アンケート結果と今後の改善方策について、学校のホームページに掲載する。また、保護者に結果を配布する。	
学校整理番号		特10
学校名		青森県立青森第二高等養護学校
対象障害種別		視覚・聴覚 <input checked="" type="checkbox"/> 知的・肢体・病弱
自己評価実施日		令和7年12月12日(金)
学校関係者評価実施日		令和8年2月18日(水)
(9) -イ 学校関係者評価委員会の構成		
学校運営協議会委員(8名)※校長含む 教頭 事務長 教務主任 生徒指導主事 進路指導主事 保健主事 寄宿舎寮務主任		

自 己 評 価				学校関係者評価		(10) 次年度への課題と改善策
番号	(5) 評価項目	(6) 具体的方策	(7) 具体的方策による目標の達成状況	(8) 目標の達成度	(9) -ア 学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	経験の違いによる学び合いを活用したキャリア発達を促す授業づくりの推進	<p>①職業科等における縦割りや異年齢活動を取り入れた授業の推進</p> <p>②先進校当の事例収集と情報共有の推進</p>	<p>教員の評価は3.6、生徒の評価（友達との関係・学び合い）は1年生が3.6となっている。</p> <p>①校内研修として明確に位置付け、計画的に取り組むことができた。主に、産業現場等における実習の事前・事後学習の場面において異年齢活動を実施し、学年を越えた学びの機会を創出した。</p> <p>具体的には、後輩が先輩に対して実習内容や職場での工夫、心構え等について質問・相談する相談会を設定するとともに、先輩による実習報告会を後輩が参観し、直接質問する場を設けた。</p> <p>②8月、1月に、「先進校における異年齢活動について」をテーマに、弘前大学教授による講義を受け、教員間で熟議を行い、授業づくりの視点や具体的な授業実践のアイデアについて共有を図った。その過程において、各教員が自らの実践を振り返りつつ、異年齢活動を実践することができた。</p> <p>具体的には、進路に関する悩みを先輩と対話、清掃やクリーニング等の技術の継承、学校外での清掃などを実践し、異年齢による関わりを通して、互いに学び合う意識や主体的に取り組む姿勢の育成につながった。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢による学習は、知識を深めることに加え、コミュニケーション力の向上を目指した教育につながっている。学校全体を通して生きる力をつけてほしい。 ・異年齢による学習では、質問をした1、2年以上に、教える立場の3学年の学びが充実していると感じた。経験を言葉にし教えることは、深い学びにつながっている。 ・社会に開かれた学校教育の推進をしている。 ・学校外でカフェを行うなど、学習した技能を生かした取り組みは教育効果が高いと思われる。学校運営協議委員と連携し取り組みたい。 	<p>①校内研修の場において実践事例を共有し、効果や課題について熟議する機会を継続的に設ける。</p> <p>異年齢活動の指導事例を蓄積・共有し、学校全体での指導力向上を図る。</p> <p>②研修部において、ノートブックLM(AI)を活用した取組を検討する。授業実践事例や校内研修資料を効率的に共有し、校内研修の質の向上を図る。</p>
2	キャリア教育を通じた全教職員による進路指導	<p>①一人一人に合った実習先の選定</p> <p>②専門教科、流通・サービス、職業等における進路実現に向けた指導の充実</p> <p>③進路に関する学習会の充実</p>	<p>進路に関する評価について、生徒は3.4～3.7、保護者は3.5～3.6、教師は3.8となり、安定した評価となっている。</p> <p>①一人一人の適性に合った実習先を選定できるよう面談を繰り返し、できること、できないことについて自己理解を促した。</p> <p>②働くスキルと併せて、社会人として必要な姿勢、態度について全職員で一貫して指導している。</p> <p>③進路面談や外部講師を招いた進路講話会、職業ガイダンス等を実施したり、職場見学を実施して実際に働く様子を見学したりしたほか、進路だよりを活用して進路に関する情報提供を行った。また、職員対象に「就労選択支援制度」について外部講師を招いて研修会を開き、新しい就労・障害福祉サービスについて理解を深めた。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・本校は、定着率が高い。卒業生のフォローアップも大切にしている。継続してほしい。 ・アップルワークでは、会員を増やす取り組みをしている。現場実習先とて選択肢を増やすことで、学校に還元したい。 ・外部講師の取り組みはとてよい。教員の負担が大きくなるように、年間を見通し、適切な時期、内容を整理して取り組むとよい。 	<p>①継続する。</p> <p>②継続する。</p> <p>③先輩の経験や実体験から学ぶ機会を充実させることで、生徒が自身のキャリア発達を見通し、進路についての気付きや価値付けを深められるようにする。</p>

3	生徒の主体性重視と社会性につなげる生徒指導	<p>①支える生徒指導（主体的な成長・発達の促進）</p> <p>②学習指導と生徒指導の一体化</p> <p>③チーム学校による生徒指導体制の構築</p>	<p>生徒指導の領域では、教員は3. 7、保護者は、3. 5、生徒（相談）は、3. 4となっている。</p> <p>①年に4回、生徒に、学校生活について問うアンケート「あなたからのメッセージ」を行った。また、教員がアンケートを活用した対話の方法を事前に研修することで、生徒の思いや考えを受け止めながら、自らの気付きにつながるよう工夫した。「SOSの出し方教室」を、今年度は全校生徒を対象に実施した。また、生徒の希望を受け、スクールカウンセラーと話す機会を設定した。</p> <p>②生徒会が中心となって充実した学校生活のあり方を検討し、いじめ防止等の内容を「二高養宣言」として表明した。生徒集会をはじめとする生徒会活動の中で仲間を認め合い、支え合うルールを作ることができた。 授業や実習、行事後の振り返りを通して、「できたこと」「工夫したこと」「次に生かしたいこと」を言語化する機会を設定した。</p> <p>③いじめ認知（4件：前年度比+2）、懲戒（7件：前年比-7）があった。 校内支援委員会、いじめ防止委員会を活用し指導のあり方を検討し取り組んだ。スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー、いじめ防止委員、警察など、外部機関と積極的に連携した。</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達支持的生徒指導の視点に立った成長を支える指導を継続してほしい。 ・対人関係を伴う社会生活においてトラブルは避けられないものであるという前提に立ち、それらを適切に乗り越え、自己成長の糧とするための具体的な指導と支援が学校には求められる。 ・社会で生きていくための大切な学びの機会として捉え、生徒が自分たちで乗り越えることができるよう指導を継続してほしい。 ・高校を退学し、再入学する生徒が今後増えてくることが想定される。生徒の再出発を支える指導の準備が必要である。 	<p>①年4回の面談を通して、生徒の悩みを知る取り組みを継続し、個の特性を正しく理解しながら丁寧に指導をする。</p> <p>②振り返り活動をとおり、自分の思いやSOSを正しく発信する学習を継続して行う。</p> <p>③継続する。</p>
---	-----------------------	---	---	--	--

4	特色ある学校づくりと魅力発信	<p>①中学校や就労先等への魅力発信</p> <p>②2KOYOPRODUCTS 全国発信</p> <p>③来校者へのPR</p>	<p>①「出前ガイダンス」を、4件実施した。中学校の進路学習での情報提供等、中学校のニーズに応えるとともに本校の魅力を発信した。</p> <p>第二回学校運営協議会において、「本校の魅力と魅力発信の工夫」をテーマに熟議を行った。本校ホームページに、「二高養の魅力」のメニューを作り、進路学習の成果物などを公開した。生徒による学校紹介を授業で扱った。</p> <p>②アンテナショップ（農園カフェ日々木）での委託販売に加え、金山焼展示販売会、社会福祉協議大会における販売会に参加するなど、学校外で本校の学習をアピールする機会が増えた。</p> <p>③中3、中1・2、保護者、教員、企業向け「オープンスクール」を実施し、生徒による専門教科の説明により、来校者に興味関心をもっていただくことができた。また、生徒の自信に繋がった。</p> <p>オープンスクールで使用した今年度の学校紹介動画に、生徒の生の声を取り入れ、より本校のよさが伝わるようにした。</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二回学校運営協議会での熟議を生かした取り組みが進められている。 ・本校は先進的な取り組みをしている。高等学校教育改革において、キャリア教育の充実があげられる。少子化の影響は避けられない。選ばれる学校となるため、本校の取り組みを広くアピールすることが求められている。 ・魅力の発信は、本校が選ばれる学校となることに加え、青森県全体の教育の充実に寄与することになる。 ・職業教育の充実の一つとして、生徒の得意や特化した能力のさらなる向上も大切にするとよい。アートや伝統工芸などは、専門教科や美術などで扱うことができそうである。 ・販売会や展示の機会があれば、紹介する。 	<p>①継続して実施する。熟議を受け、生徒による発信、学校案内リーフレットの改善など、具体を検討し取り組む。</p> <p>②異年齢活動や校外での活動を継続して行う。また、取組の成果を、学校ホームページや報道機関等を活用し、積極的に発信していく。</p> <p>③オープンスクール等の来校者に生徒が説明をする活動を、今後も充実・継続していく。</p>
---	----------------	---	--	---	---

(11) 総括	<p>全体として「職業的自立に向けた専門教育」と「安全・安心な教育環境の構築」において極めて高い評価であった。生徒の視点では、「専門教科の授業で、働くために必要な知識や態度を丁寧に教えている」という項目は、全体平均で3.6、特に3学年では3.8という非常に高い数値であった。保護者の視点では「産業科の特色を生かした教育活動」は3.6、「就労に必要な知識・技能の定着を目指した指導」は3.6と、安定して高い評価を得ている。本校の最大の強みは、将来の就労を見据えた質の高い指導であることが確認できた。</p> <p>人間関係について、教職員は「いじめの未然防止や組織的対応」に、継続して高い評価となっており、今年度は3.9であった。生徒も「友達と話をしたり遊んだりすることが楽しい」に3.5という肯定的な評価となっている。寄宿舎については、緊急時の対応が、0.1ポイント上がり3.7となっており、安心・安全な環境づくりにおいて成果が見られた。</p> <p>課題としては、「入学してよかった」等、学校生活について、保護者は高い評価であるが、生徒の満足度が低い項目があることである。さらに、自由記述には、暑さ対策、学校のルールの整合性についての意見があった。生徒の興味・関心に寄り添う「伴走者」としての姿勢を強め、自己肯定感の向上の支援（現在3.6）をさらに加速させる、教員間の指導方針の共有や丁寧な対応をしていく必要がある。</p> <p>今回の学校評価で得たことや学校評議員の皆様から頂いたご意見を次年度の学校経営に生かし、社会的自立ができる生徒の育成を目指していく。</p>
---------	---

令和7年度 生徒によるアンケート 集計結果(年度別)

青森県立青森第二高等養護学校

4…とてもそう思う 3…だいたいそう思う 2…あまりそう思わない 1…まったくそう思わない

項目	番号	質問	1学年			2学年			3学年			全体		
			R7	R6	R5									
友達	1	友達と一緒に話をしたり、遊んだりすることが楽しい。	3.6	3.6	3.5	3.6	3.2	3.6	3.2	3.6	3.3	3.5	3.4	3.5
	2	いろんな事を話し合える友達がいる。	3.4	3.6	3.6	3.4	3.4	3.6	3.3	3.3	3.4	3.4	3.4	3.6
	3	みんなで助け合って活動している。	3.5	3.5	3.6	3.5	3.2	3.7	3.1	3.6	3.3	3.3	3.4	3.6
先生	4	先生は、生徒の生活や興味・関心のあることについて知っている。	3.2	3.5	3.5	3.1	3.3	3.5	3.1	3.3	3.4	3.1	3.3	3.5
	5	先生は、生徒の悩みごとについて相談にのってくれる。	3.4	3.7	3.7	3.5	3.3	3.6	3.4	3.6	3.5	3.4	3.5	3.6
	6	先生は、よいことをしたときやがんばったとき、ほめてくれる。	3.6	3.6	3.6	3.4	3.3	3.5	3.2	3.6	3.4	3.4	3.5	3.5
	7	先生は、失敗したとき、適切にアドバイスしてくれる。	3.5	3.7	3.7	3.2	3.5	3.5	3.4	3.6	3.5	3.4	3.6	3.6
学習	8	専門教科の授業は、働くために必要な知識や態度について、ていねいに教えている。	3.8	3.8	3.8	3.5	3.6	3.6	3.5	3.6	3.6	3.6	3.7	3.7
	9	先生は、現場実習や進路について、必要な情報を丁寧にくれる。	3.7	3.8	3.8	3.4	3.5	3.7	3.7	3.7	3.6	3.6	3.7	3.8
	10	先生は、わからないことを聞くと、ていねいにおしえてくれる。	3.6	3.8	3.7	3.4	3.5	3.6	3.5	3.7	3.5	3.5	3.7	3.6
	11	授業の進め方は、わかりやすい。	3.5	3.5	3.2	3.4	3.4	3.5	3.3	3.6	3.2	3.4	3.5	3.3
	12	先生は、生徒が自分で考えたり、友達と意見を話し合ったりできるようにしている。	3.5			3.1			3.2			3.3		
	13	「学習の記録」を見て、勉強したことを振り返ることができる。	3.2	3.4	3.3	3.3	3.4	3.4	3.3	3.5	3.3	3.3	3.4	3.4
特別活動	14	学校行事は楽しい。	3.4	3.5	3.5	3.1	3.1	3.2	3.2	3.3	3.1	3.2	3.3	3.3
	15	学級の活動や生徒会活動、委員会活動、部活動などにやりがいをもって取り組んだ。	3.4	3.6	3.6	3.2	3.3	3.4	3.2	3.5	3.4	3.3	3.5	3.5
	16	二高養祭の活動は、友達と協力して取り組める内容になっている。	3.6	3.7	3.6	3.5	3.4	3.6	3.5	3.6	3.4	3.5	3.6	3.6
施設設備・防災	17	生活や学習に必要な教室や場所、道具等が準備されている。	3.5	3.8	3.6	3.3	3.6	3.5	3.4	3.6	3.6	3.4	3.6	3.6
	18	学校や寄宿舎の中に危険なところはない。	3.5	3.7	3.3	3.6	3.3	3.6	3.4	3.5	3.6	3.5	3.5	3.5
	19	学校や寄宿舎で火事や地震が起きたとき、どうすればよいか知っている。	3.4	3.6	3.8	3.5	3.8	3.9	3.7	3.6	3.7	3.5	3.7	3.8
学校生活	20	楽しい学校生活を送っている。	3.4	3.3	3.0	3.0	2.8	3.0	3.1	3.3	3.1	3.1	3.1	3.1
	21	目標をもって学校生活を送っている。	3.4	3.3	3.2	3.2	3.2	3.5	3.2	3.6	3.3	3.2	3.4	3.4
	22	この学校に入学してよかったと思う。	3.3	3.3	3.4	3.0	2.9	3.2	3.1	3.3	3.0	3.2	3.2	3.3

*黄色は評価が「達成できている(3.6以上)」のもの

*ブルーは評価が「努力を要する(3.0以下)」のもの

令和7年度 生徒によるアンケート 集計(同集団別)

青森県立青森第二高等養護学校

4…とてもそう思う 3…だいたいそう思う 2…あまりそう思わない 1…まったくそう思わない

項目	番号	質問	1学年			2学年			3学年		
			R7			R7	2年時		R7	2年時	1年時
友達	1	友達と一緒に話をしたり、遊んだりすることが楽しい。	3.6			3.6	3.6		3.2	3.2	3.5
	2	いろんな事を話し合える友達がいる。	3.4			3.4	3.6		3.3	3.4	3.6
	3	みんなで助け合って活動している。	3.5			3.5	3.5		3.1	3.2	3.6
先生	4	先生は、生徒の生活や興味・関心のあることについて知っている。	3.2			3.1	3.5		3.1	3.3	3.5
	5	先生は、生徒の悩みごとについて相談にのってくれる。	3.4			3.5	3.7		3.4	3.3	3.7
	6	先生は、よいことをしたときやがんばったとき、ほめてくれる。	3.6			3.4	3.6		3.2	3.3	3.6
	7	先生は、失敗したとき、適切にアドバイスしてくれる。	3.5			3.2	3.7		3.4	3.5	3.7
学習	8	専門教科の授業は、働くために必要な知識や態度について、ていねいに教えている。	3.8			3.5	3.8		3.5	3.6	3.8
	9	先生は、現場実習や進路について、必要な情報を丁寧にくれる。	3.7			3.4	3.8		3.7	3.5	3.8
	10	先生は、わからないことを聞くと、ていねいにおしえてくれる。	3.6			3.4	3.8		3.5	3.5	3.7
	11	授業の進め方は、わかりやすい。	3.5			3.4	3.5		3.3	3.4	3.2
	12	先生は、生徒が自分で考えたり、友達と意見を話し合ったりできるようにしている。	3.5			3.1			3.2		
	13	「学習の記録」を見て、勉強したことを振り返ることができる。	3.2			3.3	3.4		3.3	3.4	3.3
特別活動	14	学校行事は楽しい。	3.4			3.1	3.5		3.2	3.1	3.5
	15	学級の活動や生徒会活動、委員会活動、部活動などにやりがいをもって取り組んだ。	3.4			3.2	3.6		3.2	3.3	3.6
	16	二高養祭の活動は、友達と協力して取り組める内容になっている。	3.6			3.5	3.7		3.5	3.4	3.6
施設設備・防災	17	生活や学習に必要な教室や場所、道具等が準備されている。	3.5			3.3	3.8		3.4	3.6	3.6
	18	学校や寄宿舎の中に危険なところはない。	3.5			3.6	3.7		3.4	3.3	3.3
	19	学校や寄宿舎で火事や地震が起きたとき、どうすればよいか知っている。	3.4			3.5	3.6		3.7	3.8	3.8
学校生活	20	楽しい学校生活を送っている。	3.4			3.0	3.3		3.1	2.8	3.0
	21	目標をもって学校生活を送っている。	3.4			3.2	3.3		3.2	3.2	3.2
	22	この学校に入学してよかったと思う。	3.3			3.0	3.3		3.1	2.9	3.4

*黄色は評価が「達成できている(3.6以上)」のもの

*ブルーは評価が「努力を要する(3.0以下)」のもの

令和7年度 学校に関する保護者アンケート集計結果（年度別）

青森県立青森第二高等養護学校

4 そのとおりである 3 おおむねそのとおりである 2 やや違う 1 違う 0 分からない

	1学年			2学年			3学年			全体			
	R7	R6	R5	R7	R6	R5	R7	R6	R5	R7	R6	R5	
I 学校経営について													
1	学校は、教育方針や取り組みについて分かりやすく伝えている。	3.5	3.5	3.6	3.5	3.6	3.3	3.4	3.6	3.3	3.5	3.6	3.4
2	学校は、教育活動の様子や結果を分かりやすく伝えている。	3.5	3.5	3.6	3.6	3.7	3.4	3.4	3.6	3.4	3.5	3.6	3.5
3	学校は、生徒や保護者のプライバシーに配慮している。	3.5	3.5	3.5	3.6	3.6	3.4	3.5	3.7	3.5	3.5	3.6	3.5
4	学校は、産業科の特色を生かした教育活動を推進している。	3.6	3.5	3.6	3.6	3.7	3.4	3.5	3.7	3.4	3.6	3.6	3.5
5	学校は、寄宿舎の機能を生かした指導が行われている。	3.5	3.3	3.6	3.4	3.7	3.6	3.5	3.6	3.4	3.5	3.6	3.5
II 学習指導(指導計画、指導内容・方法、評価)・生徒指導について													
6	学校は、個別の教育支援計画(指導計画)を作成し分かるように説明している。	3.6	3.5	3.5	3.7	3.5	3.4	3.5	3.7	3.4	3.6	3.6	3.4
7	生徒の課題や指導の方針等について担任と共通理解ができている。	3.6	3.5	3.5	3.6	3.6	3.3	3.5	3.6	3.4	3.5	3.6	3.4
8	生徒が将来自立した生活を営むために必要な力を育てる指導が行われている。	3.6	3.5	3.6	3.6	3.7	3.3	3.4	3.6	3.5	3.5	3.6	3.5
9	学校は、就労に必要な知識・技能の定着を目指した指導が行われている。	3.6	3.5	3.7	3.6	3.7	3.2	3.5	3.7	3.4	3.6	3.6	3.4
10	授業が分かるように学習内容を工夫したり、ICT機器を活用したりするなど指導方法を工夫されている。	3.4	3.5	3.5	3.4	3.7	3.3	3.4	3.7	3.5	3.4	3.6	3.4
11	「学習の記録」は、生徒の成長や進歩が分かりやすく書かれている。	3.4	3.3	3.5	3.4	3.7	3.4	3.3	3.6	3.4	3.4	3.6	3.4
12	学校は、アンケート(あなたからのメッセージ)や面談を実施して、いじめの未然防止、早期発見、迅速な対応に努めている。	3.5	3.5	3.5	3.5	3.8	3.2	3.4	3.6	3.3	3.4	3.6	3.3
III 学校行事について													
13	二高養祭の時期や日程は適切である。	3.6	3.5	3.7	3.7	3.8	3.6	3.7	3.7	3.6	3.6	3.7	3.6
14	二高養祭は、生徒が中心となって意欲的に活動している。	3.7	3.8	3.8	3.7	3.8	3.7	3.7	3.8	3.6	3.7	3.8	3.7
IV 進路指導について													
15	必要な進路情報が適切に提供されている。	3.5	3.3	3.5	3.6	3.6	3.5	3.4	3.7	3.5	3.5	3.5	3.5
16	進路について担任等と適切な話し合いが行われている。	3.5	3.3	3.5	3.6	3.6	3.5	3.3	3.7	3.6	3.5	3.6	3.5
17	現場実習の期間・内容等は適切である。	3.5	3.6	3.5	3.5	3.6	3.3	3.4	3.7	3.6	3.5	3.6	3.5
V 保健・安全について													
18	日常の健康管理や規則正しい生活習慣を身に付ける指導が行われている。	3.5	3.5	3.6	3.6	3.7	3.4	3.3	3.6	3.5	3.5	3.6	3.5
19	交通安全や防災についての指導が行われている。	3.5	3.5	3.6	3.6	3.7	3.5	3.4	3.6	3.4	3.5	3.6	3.5
20	学校は事故、けが、病気、災害等が発生した場合に、適切に対応している。	3.5	3.5	3.6	3.6	3.7	3.4	3.5	3.7	3.4	3.5	3.7	3.5
21	学校の安全管理は適切に行われている。	3.5	3.6	3.6	3.5	3.8	3.4	3.5	3.7	3.5	3.5	3.7	3.5
22	学校は緊急時の対応や連絡体制において適切に対応している。	3.5	3.5	3.7	3.6	3.7	3.5	3.4	3.7	3.4	3.5	3.7	3.5
VI 家庭・学校の連絡													
23	家庭への連絡(学年・学級だよりなどを含む)は適切に行われている。	3.6	3.6	3.7	3.6	3.7	3.4	3.6	3.7	3.6	3.6	3.7	3.6
24	学校(担任等)との話し合いは適切に行われている。	3.6	3.6	3.7	3.6	3.7	3.5	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6
VII PTA活動等													

25	各種委員会、家庭教育学級、地域ブロック活動、二高養祭模擬店活動は適切に行われている。	3.5	3.3	3.5	3.7	3.7	3.5	3.4	3.8	3.5	3.5	3.6	3.5
26	同窓会や地域ブロック活動の計画・内容等を理解している。	3.3	3.3	3.4	3.3	3.6	3.3	3.4	3.6	3.4	3.3	3.5	3.4
27	会計報告はPTA総会で適切に行われている。	3.6	3.4	3.5	3.7	3.7	3.5	3.5	3.7	3.5	3.6	3.6	3.5

VIII 総合的・他

28	お子さんを本校に入学させてよかったと思っている。	3.7	3.7	3.9	3.7	3.8	3.7	4.0	3.7	3.6	3.8	3.7	3.7
----	--------------------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

※黄色は評価が「達成できている(3.6以上)」のもの
 ※ブルーは評価が「努力を要する(3.0以下)」のもの

4 そのとおりである 3 おおむねそのとおりである 2 やや違う 1 違う 0 分からない

No	評価項目	R7	R6	R5
1	寄宿舎は、お子さんの様子について、分かりやすく伝えている。	3.4	3.7	3.6
2	寄宿舎は、生徒一人一人の特性に配慮した指導や対応をしている。	3.4	3.7	3.5
3	寄宿舎は、生徒のプライバシーが守られるように、適切に配慮している。	3.5	3.7	3.7
4	寄宿舎は、基本的な生活習慣が身に付く指導を、適切に行っている。	3.6	3.7	3.7
5	寄宿舎は、社会的な生活習慣(金銭管理・余暇利用等)を身に付ける指導を、適切に行っている。	3.6	3.7	3.6
6	寄宿舎は、勤労意欲を育てる取り組みを、適切に行っている。	3.5	3.7	3.6
7	寄宿舎は、行事や余暇活動を適切に行っている。	3.5	3.8	3.6
8	寄宿舎は、いじめや問題行動の未然防止、早期発見、迅速な対応に努めている。	3.3	3.7	3.5
9	寄宿舎は、集団生活や社会のルールを守って生活するための指導を、適切に行っている。	3.6	3.7	3.7
10	寄宿舎指導員は、生徒の悩み事等の相談にのっている。	3.5	3.6	3.6
11	寄宿舎は、家庭との連絡や話し合いを、適切に行っている。	3.6	3.7	3.5
12	寄宿舎は、連絡帳や通信(ホームページ)などを通して、寄宿舎生活の様子を分かりやすく伝えている。	3.5	3.8	3.6
13	寄宿舎は、納入金や収支決算の説明を、適切に行っている。	3.6	3.7	3.7
14	寄宿舎の施設・設備は、生徒が利用しやすいよう配置されている。	3.4	3.6	3.5
15	寄宿舎の安全管理は適切に行われている。	3.5	3.7	3.6
16	寄宿舎は、緊急時(台風等の災害)対応について、適切に説明している。	3.7	3.6	3.6
17	寄宿舎は、不審者侵入防止対策を、適切に行っている。	3.6	3.7	3.6

※黄色は評価が「達成できている(3.6以上)」のもの

※ブルーは評価が「努力を要する(3.0以下)」のもの

令和7年度 I-1 教職員の自己評価[令和7年度学校目標・経営方針・重点項目]集計結果

青森県立青森第二高等養護学校

「4」…達成できた 「3」…おおむね達成できた 「2」…あまり達成できなかった 「1」…達成できなかった 「0」分らない

項目	評価規準	評価								
		4	3	2	1	0	R7	R6	R5	
1 学校経営・ 校務全般	1.1.1	学校は、生徒や学校・地域の実態を踏まえた学校目標を設定している。	32	24	0	0	0	3.6	3.6	3.4
	1.1.2	学校は、教職員が自ら職務に責任をもち、意欲的に仕事ができる環境を整えることに努めている。	32	24	0	0	0	3.6	3.6	3.5
	1.1.3	学校は、教育目標や教育課程について、生徒や保護者に対して説明をしている。	36	19	1	0	0	3.6	3.5	3.4
	1.1.4	学校は、個々の生徒の個性を伸ばすことを教育目標に設定し、教育活動に取り組んでいる。	36	18	1	0	1	3.6	3.7	3.5
	1.1.5	学校は、学校・学級・P T A等の経理を適切に処理し、関係書類を適切に保管している。	41	14	0	0	1	3.7	3.8	3.6
	1.1.6	学校は、産業科の特色を生かした教育活動を推進している。	43	13	0	0	0	3.8	3.7	3.6
	1.1.7	学校は、寄宿舎の機能を生かした指導を行っている。	31	21	2	0	2	3.5	3.5	3.3
	1.1.8	学校は、部活動の目標や方針を設定し、教職員が共通理解をしている。	36	19	0	0	1	3.7	3.5	3.4
	1.1.9	学校は、部活動を実施するための体制・組織や役割分担を明確にしている。	39	16	0	0	1	3.7	3.5	3.4
	1.1.10	学校は、施設・設備を整備し、有効に活用している。	25	28	2	0	1	3.4	3.6	3.4
	1.1.11	学校は、校舎内外の美化と安全に努めている。	39	17	0	0	0	3.7	3.6	3.5
2 全教職員による 進路指導	1.2.1	学校は、個別の指導計画に基づいて、キャリア教育の視点から、生徒の社会的、職業的自立に必要な力を計画的に育てている。	38	16	1	0	1	3.7	3.6	3.5
	1.2.2	学校は、外部の人材や施設等を活用するなど、地域との連携協力の下に教育活動を展開している。	43	13	0	0	0	3.8	3.7	3.5
	1.2.3	学校は、学級担任、進路指導部、寄宿舎担当等による校内の協力体制を築き、生徒の社会的・職業的自立に必要な力を計画的に育てている。	36	19	0	0	1	3.7	3.6	3.5
	1.2.4	学校は、最新の進路情報を整備し、授業の中で活用することや、保護者への分かりやすい情報提供に努めている。	35	20	0	0	1	3.6	3.6	3.4
	1.2.5	学校は、関係機関と連携した取組を積極的に行っている。	41	15	0	0	0	3.7	3.7	3.5
	1.2.6	学校は、生徒個々の実態や適性、本人及び保護者の希望等を踏まえた現場実習を実施している。	36	18	2	0	0	3.6	3.5	3.5
3 生徒の主体性や 人間関係づくりを重視 した生徒指導	1.3.1	学校は、生徒が自他の理解を深め、円滑な人間関係を構築することで、積極的、協働的に集団活動へ参加できるように、お互いを認め合える集団づくりと一人一人が力を発揮できる場面づくりに努めている。	33	21	2	0	0	3.6	3.7	3.5
	1.3.2	学校は、生徒が自ら判断し、行動できるように、生徒の気持ちや考えを大切に生徒指導に努めている。	34	20	0	0	2	3.6	3.7	3.5
	1.3.3	学校は、生徒会活動や対外的スポーツ大会並びに文化的活動への参加、資格取得等へのチャレンジなどを通して、生徒の主体性を育てている。	40	15	1	0	0	3.7	3.7	3.6
	1.3.4	学校は、体育や専門教科の授業、部活動、体育的行事等において、生徒が主体的に取り組み、健康・体力・持久力の向上を図っている。	40	16	0	0	0	3.7	3.6	3.6
	1.3.5	学校は、社会資源の活用や緊急時の対応、情報モラルの習得など、社会生活を営む上で必要なスキルや規範意識の育成に向けた指導を計画的に進めている。	38	17	1	0	0	3.7	3.6	3.5
	1.3.6	学校は、いじめや問題行動等の未然防止、早期発見、迅速な対応に努め、家庭や関係機関と連携して、組織的な取組を行っている。	40	14	2	0	0	3.7	3.8	3.5
	1.3.7	学校は、定期あるいは必要に応じて教育相談を実施するなど、生徒との意思疎通を図るよう体制を整えている。	44	12	0	0	0	3.8	3.8	3.6
	1.3.8	学校は、生徒の自己肯定感を高める支援の充実に取り組んでいる。	34	20	0	0	2	3.6	3.5	3.4
4 整備と 言語環境の 充実	1.4.1	学校は、将来の社会生活・職業生活に必要な「挨拶」「返事」等の基本的なやりとり、相手や場面に応じたコミュニケーションスキルの一層の向上に努めている。	43	13	0	0	0	3.8	3.7	3.5
	1.4.2	学校は、生徒の人格や人権を尊重し、教職員自らが生徒の手本となるよう、適切な言語環境の整備に努めている。	32	23	1	0	0	3.6	3.5	3.4
	1.4.3	学校は、授業や様々な活動の中で、発表や作文活動、話し合いの場の設定など、生徒の考えや意見を表現する機会を大切に、言語活動の充実を図っている。	37	19	0	0	0	3.7	3.6	3.5

5 地域の 制の充 実及 び協 力体 構築	1.5.1	学校は、小中高等学校等からの要請に応じ、巡回相談等を通してセンター的機能を積極的に果たしている。	36	17	0	0	3	3.7	3.6	
	1.5.2	学校は、本校に対する理解並びに中学校からの一貫した指導を推進する機会として、中学生や保護者、中学校教員を対象としたオープンスクール及び研修会に取り組んでいる。	40	15	0	0	1	3.7	3.7	3.5
	1.5.3	学校は、地域の高校や施設、町内会等との交流を積極的に進める中で、本校の教育活動に対する理解啓発と相互協力体制の構築に取り組んでいる。	40	15	1	0	0	3.7	3.6	3.5
	1.5.4	学校は、ホームページや各種情報発信を通して、本校での学習の様子や生徒の活躍、学校の姿を地域社会に積極的に発信している。	45	11	0	0	0	3.8	3.8	3.6
6 校内 自己 研 究 積 極 的 な	1.6.1	学校は、ICT機器を活用し、その効果を検証するとともに実践の蓄積・共有を図る校内研究に計画的に取り組んでいる。	41	14	0	0	1	3.7	3.6	3.5
	1.6.2	学校は、学校課題に基づいて、校内研修会の実施及び校外研修会への参加を計画的に行っている。	36	18	1	0	1	3.6	3.5	3.5
	1.6.3	学校は、生徒にとって分かりやすい授業を目指し、ICT機器の活用など指導方法の工夫を通して、授業改善に取り組んでいる。	38	16	2	0	0	3.6	3.6	
	1.6.4	学校は、主体的・対話的で深い学び、異年齢活動等、経験の違いによる学びを活用したキャリア発達を促す授業づくりに努めている。	36	20	0	0	0	3.6		

※黄色は評価が「達成できている（3.6以上）」のもの

※ブルーは評価が「努力を要する（3.0以下）」のもの

I-2 教職員の自己評価[各学部・分掌の重点事項]集計結果

青森県立青森第二高等養護学校

「4」…達成できた 「3」…おおむね達成できた 「2」…あまり達成できなかった 「1」…達成できなかった 「0」分らない

学校 学年 分掌	評価規準	評価								
		4	3	2	1	0	R7	R6	R5	
学 年	2.1.1	1学年は、二高養生としての自覚を育て、望ましい生活習慣と、基礎的、基本的な学力を身につけさせている。	34	18	0	0	4	3.7	3.5	3.5
	2.1.2	1学年は、将来の社会的、職業的自立に必要な生活経験の拡大を図っている。	37	15	0	0	4	3.7	3.6	3.5
	2.1.3	1学年は、学年懇談会や学年通信等を通して、保護者に適切に情報を提供するとともに、保護者、他学年、寄宿舎等と連携している。	38	14	0	0	4	3.7	3.6	3.5
	2.2.1	2学年は、中堅学年としての自覚を育て、望ましい生活習慣の確立や基礎学力の向上を図っている。	38	15	0	0	3	3.7	3.5	3.5
	2.2.2	2学年は、将来の社会的、職業的自立に必要な基礎知識・技能の習得及び態度・習慣の形成を図っている。	36	16	1	0	3	3.7	3.5	3.5
	2.2.3	2学年は、学年懇談会や学年通信等を通して、保護者に適切に情報を提供するとともに、保護者、他学年、寄宿舎等と連携している。	34	19	0	0	3	3.6	3.6	3.5
	2.3.1	3学年は、最高学年としての自覚を育て、充実した学校生活の確立を図っている。	36	16	0	0	4	3.7	3.7	3.5
	2.3.2	3学年は、将来の社会的、職業的自立に必要な基礎的知識・技能の習得及び態度、習慣の定着を図っている。	37	15	0	0	4	3.7	3.7	3.5
	2.3.3	3学年は、本人及び保護者のニーズを踏まえ、関係機関等と連携して進路指導（移行支援含む）を行っている。	36	16	0	0	4	3.7	3.7	3.6
分 掌	2.4.1	教務部は、学校課題や生徒の実態を踏まえた教育課程を編成し、学年間、寄宿舎との連絡調整をしながら教育活動を展開している。	41	13	0	0	2	3.8	3.7	3.6
	2.4.2	教務部は、中学校や関係機関等のニーズに応じて学校見学会、説明会等を実施し本校の教育活動への理解啓発を図っている。	45	10	0	0	1	3.8	3.8	3.7
	2.5.1	生徒指導部は、学校行事や生徒会活動及び部活動を通して、主体的、協動的な態度及び望ましい人間関係の構築や社会性の育成を図っている。	47	8	0	0	1	3.9	3.8	3.5
	2.5.2	生徒指導部は、各学年及び寄宿舎、保護者、外部機関と連携し、生徒の問題行動やいじめの未然防止及び早期発見に努め、組織的に対応している。	48	6	1	0	1	3.9	3.8	3.5
	2.6.1	保健安全部は、生徒の健康状態を的確に把握し、生徒が主体的に健康管理できるよう支援している。	47	8	0	0	1	3.9	3.7	3.6
	2.6.2	保健安全部は、より良い生活習慣の育成のため、食と生活を含む給食指導の充実を図っている。	47	8	0	0	1	3.9	3.6	3.6
	2.6.3	保健安全部は、緊急時の対応等を含め、危機管理マニュアルの一層の充実を図っている。	46	9	0	0	1	3.8	3.7	3.6
	2.7.1	進路指導部は、生徒個々の実態や適性、本人及び保護者の希望等を踏まえた現場実習を実施している。	41	13	0	0	2	3.8	3.7	3.6
	2.7.2	進路指導部は、最新の進路情報を整備し、学級担任や保護者との適切な情報共有に努めている。	43	11	0	0	2	3.8	3.7	3.6
	2.8.1	研修部は、学校課題の改善に向けた校内研究、校内研修会の実施により、教員の専門性の向上を図っている。	41	13	1	0	1	3.7	3.6	3.6
	2.8.2	研修部は、県内外の研修会開催等に関する情報を適切に紹介し、研修の機会を提供している。	44	11	0	0	1	3.8	3.7	3.5
2.9.1	渉外部は、保護者と連携し、保護者交流（家庭教育学級等）、地域ブロック活動等PTA活動の活性化を図っている。	48	7	0	0	1	3.9	3.7	3.6	
2.9.2	渉外部は、特P連、県知P連、高P連の加盟校として事務局と連携し、計画的に研修会等の案内をしている。	44	11	0	0	1	3.8	3.8	3.7	
2.10.2	寄宿舎は、集団生活を通して、よりよい人間関係の構築及び将来の社会人として必要な生活習慣の定着を図っている。	36	17	2	0	1	3.6	3.6	3.4	
2.10.2	寄宿舎は、節度ある態度の育成を図り、自ら努力することの大切さを理解できるように努めている。	32	21	2	0	1	3.5			
2.10.3	寄宿舎は、余暇指導の充実を図っている。	34	20	1	0	1	3.6	3.6	3.2	
2.11.1	事務部は、学校の窓口として適切な対応をしている。	27	24	4	0	1	3.4	3.7	3.7	

2. 11. 2	事務部は、教材購入等において教員と十分な連携を図っている。	17	24	9	3	3	3.0	3.8	3.8
----------	-------------------------------	----	----	---	---	---	-----	-----	-----

※黄色は評価が「達成できている(3.6以上)」のもの
※ブルーは評価が「努力を要する(3.0以下)」のもの